

なぴあ

NAGASAKI
INTERNATIONAL
ASSOCIATION

VOL 101
2018.12



2018年10月28日(日) 第20回ながさき国際協力・交流フェスティバル(Nepalese in Nagasakiブースにて)

Contents

●事業報告

- ・第20回ながさき国際協力・交流フェスティバル 2
- ・学ぼう！遊ぼう！世界体験旅行！ 2

●長崎県内で国際交流・協力を行う団体の紹介

- ・長崎外海・ヴォスロール姉妹都市委員会 3

●協会からのお知らせ

- ・新しい長崎県国際交流員 (CIR) の紹介 4
- ・「国際交流員 (CIR) と話そう！」について 4
- ・長崎県立大学キャリアインターンシップ生の受け入れ
インターンシップを体験して「身近に感じた国際交流」 4
- ・インターンシップ生による長与町国際交流協会の取材レポート 5

●これから開催されるイベントのお知らせ

- ・カレンダー市2019～あなたもできる国際協力～ 6
- ・フェアトレードマーケット2019～買い物でできる国際協力～ 6

●世界でキラリ☆JICA海外協力隊

- ・パラグアイ◆イグアス日本語学校での活動記 7

●協会から助成についてのお知らせ

●協会からのお知らせ

- ・賛助会員募集 8
- ・業務支援ボランティア募集 8

協会公式「facebook ページ」で
さまざまな情報を発信しています！

いいね！&
フォローをお願い
します♪



<https://www.facebook.com/nia.nagasaki/>



私たちは賛助会員として協会を応援しています

安達株式会社 佐世保慶門市青少年交流協会
 ヤナセ産業株式会社 長崎空港ビルディング株式会社
 扇精光ホールディングス株式会社



公益財団法人 長崎県国際交流協会

〒850-0862 長崎県長崎市出島町2番11号



TEL 095-823-3931

095-823-3929

FAX 095-822-1551

Eメール nia@nia.or.jp

HP <https://www.nia.or.jp/>

FB <https://www.facebook.com/nia.nagasaki/>

事業報告



『第20回ながさき国際協力・交流フェスティバル』

2018年10月28日(日)

来場者：約2,000名、参加団体32団体

どのブースもたくさんの笑顔で溢れていました♪

学ぼう！ 遊ぼう！ 世界体験旅行！

2018年8月24日開催
(於：出島交流会館3F)

今年も子ども達の元気な声とともに始まった『学ぼう！遊ぼう！世界体験旅行』は、県内の国際交流員や在住外国人の皆さんに自国の文化や遊び、言語などを紹介していただくものです。今回は、オーストラリア、中国、インド、韓国、ベトナムの方々が講師となり、講座を盛り上げてくれました。手作りのパスポートを持って、様々な異文化に出会う旅に出かけた子供たちは、国際人への一步を踏み出していました！



<オーストラリアブース>

生き物と建物カルタ
をしました！



<インドブース>

色んなスパイスを
学びました！



<韓国ブース>

韓国の文字の成り立
ちを知りました！

<中国ブース>

中国の有名な場所につ
いて学びました！



<ベトナムブース>

伝統的な遊び(ダーカ
ウ)を体験しました！



長崎県内で国際交流・協力を行う市町、団体の紹介

長崎県の市町、団体では、様々な国際交流イベントを行っています。今回は、長崎外海・ヴォスロール姉妹都市委員会の活動をご紹介します！

40周年を迎えた「心の国際交流」



「ふるさと」を歌っている様子

長崎外海・ヴォスロール姉妹都市委員会

～ 私の知らなかった友を あなたは私に教えてくれた
私の家庭に 私の知らなかった人を座らせてくれた
遠くにいた人を 私のそばに連れて来てくれた
知らなかった人を きょうだいにしてくれた ～

旧外海町は、1978年5月28日、「外海の太陽」と今なお敬愛されているド・ロ神父(1840～1914)の故郷・フランスノルマンディー地方のヴォスロール村と姉妹都市提携をしました。

この詩は、インドのタゴール作で、ヴォスロール村で行われた調印式の際に、ヴォスロール村長が式典あいさつで引用されたものです。この詩は、私たちの姉妹都市関係のスタートにふさわしく、国を越えて「きょうだい」のような交流を目指すという意味でも目標となるものであり、「心の国際交流」とともに、当委員会のキャッチフレーズとして使っています。

外海・ヴォスロール姉妹都市委員会は、提携の翌年に発足（長崎市に編入合併後、名称を変更「長崎外海・ヴォスロール姉妹都市委員会」に）し、姉妹都市宣言の趣旨に則り、相互の親善交流の促進を図るとともに、世界の平和に寄与することを目的に掲げています。

主な事業は、1980年から始めた外海フランス語講座、フランス文化講座（料理教室など）、国際協力・交流フェスティバル等の公的イベントでの出展、相互訪問交流です。また、関連活動として委員会の主力となっているフランス語講座受講者を中心とした「フランスおもしろ交流塾」（会場：出島交流会館）などがあります。



フランス語講座



手ぬぐいの使い方の案内

今年（2018年）は姉妹都市提携

40周年の記念の年で、県外の会員なども含め25名が9月下旬にヴォスロール村を訪問しました（内20名が2日間ホームステイ）。9月28日には、田上市長を代表とする50名近い長崎市の訪問団一行と合流、村人の盛んな歓迎を受けました。歓迎パーティーでは、当方が「ふるさと」を、ヴォスロールの皆さんは「アビニヨンの橋の上で」を日本語で歌うなど楽しいひと時を過ごしました。お土産には、姉妹提携40周年と世界遺産登録記念の文字を入れた特注の手ぬぐいを持参し、

使い方を実演して、集まった方々に差し上げました。

「愛には国境がありません」と、外海を訪れたある外国人が言っていました。東日本大震災の後には、ヴォスロール村から3回にわたって義援金が被災地に送られました。友情は途絶えることなく続いており、昨年6月には、フランス語講座の受講者8名がヴォスロール村を訪問、ヴォスロール村からも、今年の1月に助役夫妻一行4名が来訪し、2日間ホームステイしてもらいました。

9月にヴォスロールを訪れた時、村に「平和の道」（“Chemin de la Paix”）という遊歩道の開通式が行われましたが、姉妹都市交流も平和につながる道の一つであり、平和都市・長崎市にある当委員会も、微力ながら貢献できればと願っています。



「平和の道」の開通式

当協会では、長崎県内で活躍する国際交流・協力の活動を応援しています！

市町、団体で行っている国際交流・協力活動を広報誌「なびあ」、協会公式Facebookで発信しませんか？興味がある方は、ぜひ当協会までお問い合わせください！

協会からのお知らせ

新しい国際交流員 (CIR)
を紹介します!

バラスリヤ・ドミニクです。
是非、「国際交流員と話そう」
に来てください!
See you soon!
(近いうちに会いましょう!)

はじめまして、今年 7 月に長崎県の国際交流員に着任しましたバラスリヤ・ドミニクと申します。出身はオーストラリアの大都会シドニーです。英訳で読んだ日本文学を日本語で読めるようになりたいと思い、2014 年に日本語を勉強し始め、その翌年、日本語と日本文化をより深く理解できるようになるため来日することを決意しました。その当時も「国際交流員」という仕事に興味がありましたが、通訳や翻訳がまだできなかったため、高校の ALT の仕事から始めました。

2015 年 7 月来日後、対馬市の上対馬高校で 3 年間 ALT として務めさせて頂き、自然や文化、心の広い人々で溢れる対馬の魅力の中で離島生活を楽しんできました。長崎県の皆様との交流を通して、長崎県の和華蘭文化と歴史で溢れる土地柄を世界へ発信したいと思い、今年国際交流員に職種変更を希望しました。

着任して初めての仕事はノーベル賞受賞者であるカズオ・イシグロ様宛の手紙の翻訳でした。まだ 3 ヶ月しか経過していませんが、幼稚園の英会話から国際会議の通訳まで、幅広い分野で貢献させて頂きました。

今後の目標は、長崎県在住外国人のサポートに取り組みながら、昔から国際交流の窓口である長崎県と全世界の架け橋になりたいと思っています!

国際交流員 (CIR) と話そう! (毎週水曜日 16:00~17:00)

オーストラリア出身のドミニクさん、中国出身の魏 (ウェイ) さん、韓国出身のソンさんの 3 人の長崎県国際交流員 (CIR) と楽しくお話しませんか?

どなたでも自由にご参加いただけますので、お気軽にお越しください♪

※派遣スケジュール等は、協会ホームページ、Facebook、あるいはお電話でご確認ください。



平成 30 年 8 月 23 日 (木) ~ 9 月 20 日 (木) までの約 1 か月間、長崎県立大学キャリアインターンシップ生を長崎県国際交流協会に受け入れました。インターンシップ生の^{だけした}高下^{ゆか} 友香さんからの報告です。



身近に感じた国際交流

長崎県立大学 国際社会学部 3 年 高下友香

私は、平成 30 年 8 月 23 日 (木) からの約一ヶ月間、長崎県国際交流協会では、8 月 24 日に実施された『世界体験旅行』の準備及び実施の補助、ながさき国際協力・交流フェスティバル及び日本文化体験教室の企画立案、『なびあ 101 号』の取材、記事作成など、貴重な経験をさせて頂きました。インターンシップの内容は事前に知っていたので正直楽しみよりも不安の方が大きかったのですが、実際に働かせていただくと職員の皆さんがとてもフレンドリーで打ち解けやすく、困ったことや分からないことなども親切に教えてくれて楽しい時間を過ごせました。さらに、『世界体験旅行』や「日本語でおしゃべりしよう!」(毎週木曜日 13:30 ~)、「国際交流員 (CIR) と話そう!」(毎週水曜日 16:00 ~ 17:00) など色んな国籍の方と話す機会があり、面白い話がたくさんできたことがとても刺激的でした。これからも何らかの形で“国際交流”に関わっていきたいと思っています。お世話になった皆様、本当にありがとうございました!!



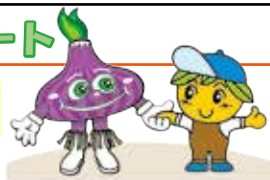
CIR と話そう!
に参加



「なびあ」の編集



インターンシップ生^{だけした}青下さんによる 長与町国際交流協会の取材レポート



ミスターレッド ミックン
ウェザースフィールド町と長与町キャラクター
(モチーフ 左:赤玉ねぎ 右:みかん)



ウェザースフィールド町がある
アメリカ合衆国・コネチカット州

長与町国際交流協会が設立20周年を迎えたということで、お話を伺いました!

★ 長与町国際交流協会ってどんな団体ですか？

長与町とアメリカ合衆国コネチカット州ウェザースフィールド町は地形などが類似していることから、1997年に姉妹都市の締結をしました。これを契機に1998年に長与町国際交流協会が設立され、世界各国の人々との交流を通して相互理解を深め、住民の国際意識を高めるとともに友好親善関係を促進することを目的として活動しています。基幹事業は語学講座、国際料理教室、留学生との交流などです。

語学講座では年間を通して、中国語と韓国語、英語の講座を実施しています。

★ 昨年開催の姉妹都市締結20周年記念事業「姉妹都市国際料理教室」について教えてください!

長与小学校と姉妹校であるウェザースフィールド町ハイクレスト小学校の先生が町の特産物の赤玉ねぎを使った伝統料理であるオニオンショートケーキのレシピを提供してくれました。それをメインに、姉妹都市国際料理教室を開催しました。オープニングセレモニーでは、ウェザースフィールド町や特産物の紹介、さらにコネチカット州出身のALTであるリンゼイ・ブレスフォード先生の講話を実施しました。住民の皆さんにウェザースフィールド町についての理解を深めて頂けたと考えています。



参加者と一枚!



リンゼイ・ブレスフォード先生



みんなで協力して調理



オニオンショートケーキ
甘さ控えめの調理パン

★ 今年は設立20周年ですが、どんなイベントを行いましたか？

2つの事業を行いましたので紹介します。(平成30年9月6日時点)

1. 『世界のスイーツ国際料理教室』

小学生からご高齢の方まで、幅広い年齢層の方々が参加し、各国の伝統的なスイーツである中国の『よりより』、ドイツの『シュトロイゼルクーヘン』、アメリカの『アップルパイ』を各グループに分かれて作りました。最後は、みんなで各国のスイーツの食べ比べを行いました。



『シュトロイゼルクーヘン』の調理風景



スペイン語授業風景

2. 『トラベル外国語講座』

英語、スペイン語、ベトナム語の講座をそれぞれ3日間行いました。飛行機やホテルのチェックイン、買い物などで交わす会話を中心に学びました。「長崎でスペイン語やベトナム語を学ぶ機会が少ないので、珍しい言語を学べた」、「3日間という短期講座だからこそ普段参加することができない人が参加できた」というご意見をいただき、大変好評を博した講座となりました。

★ 今まで20年間講座やイベントをやってきた中で、特に大変だったことは何ですか？

“国際協力”などの普段あまり馴染みがないものをテーマに講演会をするとき、参加者を集めるのが大変でした。そのため皆さんに興味を持ってもらえるように広報内容なども吟味しています。事業内容に住民のニーズを全て取り入れるのは難しいですが、より幅広い年齢層の方に受け入れられるよう計画しています。

★ やりがいを感じる瞬間はいつですか？

イベントをする際に協会会員をはじめとしてボランティアを募集することがあり、その方々と一緒に事業を作り上げ、成功させることが出来たときにやりがいを感じます。

★ 今後、開催予定のイベントについて教えてください!

協会設立20周年記念事業のメインイベントとして、国際理解をテーマとした講演会(期日:平成31年1月27日(日)、場所:町民文化ホール、講師:渡部陽一氏)を開催します。

【長与町国際交流協会】

長与町嬉里郷659番地1(長与町役場政策企画課内)
TEL 095-801-5661(直通)
HP <http://www.nagayo-kokusai.com/index.html>

これから開催されるイベントのお知らせ

カレンダー市 2019 ～あなたもできる国際協力～

主催：学生国際 NGO BOAT 共催：(公財) 長崎県国際交流協会

「学生国際 NGO BOAT」は、身近な国際協力を目指して、恵まれない世界の人々の手助けとなるように取り組んでいます。カレンダー市では企業等から寄付していただいたカレンダー・手帳を 100 円から販売し、その収益金をアジアで子どもたちの教育支援や緊急救援を行っている公益社団法人シャンティ国際ボランティア会へ寄付させていただきます。

《日 時》 2019 年 1 月 19 日(土)～20 日(日)

《時 間》 10:00 ～ 15:00

《会 場》 出島交流会館 4F 会議室 1・2
(長崎市出島町 2-11)

※1月19日(土)の午前は、会議室 4、
午後からは、会議室 3・4 でも開催します。

《問合先》 学生国際 NGO BOAT
E メール: boatotoiawase@live.jp



2018年のカレンダー市

主催者より一言

私たち「学生国際 NGO BOAT」は、毎年多くの方々にご賛同いただき、このカレンダー市を開催することができています。カレンダーや手帳を買って、国際協力してみませんか？皆さまのお越しをお待ちしています！

フェアトレードマーケット 2019 ～買い物でできる国際協力～

主催：(公財) 長崎県国際交流協会

フェアトレードとは、開発途上国の生産者や労働者の生活・労働環境の改善、自立を目指す公平な貿易のことです。私たちが日常生活でフェアトレードの商品を選ぶことが、継続的なサポートに繋がります。

* フェアトレード製品の展示と販売 *

開発途上国の手工芸品やフェアトレード製品を材料にしたパンやお菓子等を販売します。

《日にち》 2019 年 1 月 19 日(土)

《時 間》 10:00 ～ 15:00

《会 場》 出島交流会館 1F(長崎市出島町 2 番 11 号)

《出展者》 自家製天然酵母パンと焼菓子の店ちびこ
Charitable Trade
トネタワ

旅するおやつ屋シエスタ

《問合先》 (公財) 長崎県国際交流協会
TEL: 095-823-3931
E メール: nia@nia.or.jp

* ワークショップ 「おいしいチョコレートの真実」*

カカオの栽培からチョコレートとして消費されるまでの過程を通して、フェアトレードについて学ぶことのできるワークショップです。

《日にち》 2019 年 1 月 19 日(土)

《時 間》 10:30 ～ 12:00

《会 場》 出島交流会館 4F 会議室 3
(長崎市出島町 2 番 11 号)

《出展者》 JICA デスク長崎

《申込方法》 氏名・電話番号を明記の上、E メール
又は FAX でお申し込みください。

《E メール》 jicadpd-desk-nagasaki@jica.go.jp

《F A X》 095-822-1551

《申込締切》 2019 年 1 月 15 日(火)

世界でキラリ★JICA 海外協力隊



北さん(左)と日系の子どもたち

パラグアイ◆イグアス 日本語学校での活動記

北 小春 (きた こはる) さん

2016(平成28)年度0次隊・パラグアイ・日系日本語学校教師

世界中で活動する JICA 海外協力隊。2016 年 6 月から 2 年間、パラグアイのイグアス日本語学校にて日系日本語学校教師として日本語の指導を行った北さんにお話を聞きました！



パラグアイ共和国(通称:パラグアイ)は、南アメリカ中央南部に位置し、東と北東をブラジル、西と北西をボリビア、南と南西をアルゼンチンに囲まれている内陸国です。首都はアスンシオン。

(地図画像は外務省 HP より)



みなさんは日本から遠く離れた南米のパラグアイという国に、日本人が移住した歴史をご存知ですか。私は、まさしくその日本から移住した人々が暮らすパラグアイの日系社会で、日本語教師として活動を行いました。

日本語を学ぶのは、そこに暮らす子どもたちです。子どもたちの多くは午前中にパラグアイの学校、午後に日本語学校に通っています。日本語学校は日系人の自治会によって運営され、日本語や日本文化などを学びたい子どもたちが通います。

私が活動した日本語学校の子どもたちの約半分は、家庭でスペイン語など日本語以外の言葉を話しており、自分のルーツである日本語が分からない子どもたちや日本の文化や習慣、移住の歴史について知らない子どもたちが増えています。私はそこで日本語の授業を行ったり、習字や折り紙などの日本文化を教えたり、運動会や学習発表会などの行事を手伝ったりという活動を行いました。

この2年間、私はパラグアイという国にしながら日本語を話し、日本食を食べ、日本の文化に触れる生活をしました。日系移住地には日本食のレストランがあり、スーパーでは味噌や納豆などの日本食が売られ、和太鼓や日本舞踊、空手などのクラブもあります。パラグアイの日系社会にはパラグアイの文化と共に日本の文化も息づいています。これからも日系社会の人々が日本を身近に感じ、日本とパラグアイをつないでくれることを願ってやみません。



1年生の日本語の授業の様子



真剣に取り組む書道クラブの生徒



公園の入り口に立つ鳥居

助成についてのお知らせ

国際交流応援プロジェクト ～2つのサポート～

1 国際交流スタート支援 ～あなたの初めての国際交流を応援！～

募集期間：随時

- ・企画・運営などをサポートします。
- ・上限10万円で実施経費の一部を助成します。
※対象となる経費が決まっています。

一緒に最初の一步を
踏み出ませんか？

初めての国際交流



海外からの留学生との交流

2 草の根国際交流支援 ～国際交流事業を行っているあなたを応援！～

募集期間：随時

- ・上限10万円で対象経費(講師などの謝礼・交通費、会場使用料など)の1/2以内を助成します。

末長い交流をしませんか？



海外のさまざまな食で交流



世界の言語との出会い

協会からのお知らせ

協会を応援してくださる賛助会員を募集しています！

会費 個人会員：3,000円 法人会員：10,000円

〈在住外国人(留学生も含む)に向けた事業〉

- ・ガイドブックの作成及び配布(ながさき生活ガイドブック、病院に行く時につかう本、知っておこう！災害が起こるその前に!!)
- ・私費留学生に対する奨学金及び国民健康保険料補助金の交付
- ・ながさき国際協力・交流フェスティバル
- ・日本文化体験教室(平成30年度は、「着物を着て出かけよう!」、「折り紙教室」)
- ・外国人による日本語弁論大会
- ・外国語広報誌NAPIAの発行(英語・中国語・韓国語・ベトナム語)
- ・その他

これらの事業は、賛助会員の皆様のご支援により実施しています。賛助会員になって、長崎県在住外国人の支援をしたいという方や詳細をお知りになりたい方等、是非、当協会までお気軽にお問い合わせください！
ご協力をお願いいたします。

業務支援ボランティア募集中！

協会では業務支援ボランティアさんを募集しています。日本語を話したい、勉強したいと思っている外国人の方にご紹介ください！
トライアルも設けていますので、体験してみて判断いただいてもOKです。
ご興味がある方は、気軽にお問い合わせください！

※時間は13:00～16:00の3時間です。

※現在、以下のとおり募集しています。

■外国人の方2名 毎週火曜日、木曜日(祝日は除く)

業務支援ボランティアとは？

来客の方へのお茶出し、広報誌の管理や軽微な事務作業、交流フロアの清掃などをお手伝いいただく方のことです。日本人と外国人のペアになってご担当いただきます。

お問い合わせ先：(公財)長崎県国際交流協会

【TEL】095-823-3931 【E-mail】nia@nia.or.jp 【HP】https://www.nia.or.jp/